



満足度の高い 持続可能なまちづくりへ

市議会3月定例会議で田中市長が表明した、令和7年度の市政運営の基本的な考え方と主要施策について抜粋し紹介します。

市政運営の考え方

これまでの1期4年間、「オールやすぎ」で諸課題に取り組んだことで、さまざまな芽が出始めてきました。

出始めた芽を形にするため、引き続き市民の皆さまの声に耳を傾けながら、より一層の強い責任感、使命感をもって、各種施策、事業を進めていきます。

重点課題への取り組み

「人口減少対策」

あらゆる分野に影響を及ぼす人口減少への取り組みは最も重要な課題です。

市では、平成27年に「安来市人口ビジョン」を策定し、取り組みを進めてきましたが、掲げる目標人口とのかい離が年々進む状況にあります。そのため、現状を捉え、より将来の見通しを踏まえた内容となるよう、ビジョンを見直します。

新たなビジョンでは、最新の人口動向分析により社会減と自然減の抑制に向けた課題を改めて整理します。2070年の人口は、現状から対策せず推移した推計より約5千人の増加、2万人の維持を目標に掲げます。

現在、「第3次安来市総合計画」（計画期間…令和8年度から令和17年度まで）の策定に向け取り

組んでいます。中長期的な施策の方向性を明確にし、若い世代の人口減少を抑制しながら、市民一人一人が満足度の高い生活ができる、持続可能なまちづくりに取り組みます。

「新たなまちづくり」

令和6年9月に新規事業化が決定した「安来スマートインターチェンジ（仮称）」は、新たなまちづくりの起点となるものです。この整備により、観光や産業の振興、災害時における復旧活動や救命救急医療の支援迅速化など、多くの効果が期待できます。

現在、西日本高速道路株式会社と連携し、測量調査設計に取りかかるための準備を進めています。周辺開発も考慮しながら、新たなまちづくりに向けて取り組みます。



▲空から見た切川地区。写真中央辺りがスマートインターチェンジ設置予定地です。

株式会社出雲村田製作所の工場立地計画について、同社、島根県、安来市の三者による「切川地区での工業用地の造成に係る基本合意協定書の締結に向けた協議」を進めています。この立地が実現すれば、雇用の創出、定住の促進や地域経済の活性化に大きな効果が見込めます。県とも連携を図り、引き続き立地実現に向けて取り組みます。

ふるさと教育の推進により、児童・生徒の地域に対する愛着、誇りや貢献意欲の醸成を図る「地域を愛する『ひとづくり』」について、「ひと」「もの」「こと」を活用し、地域の協力を得ながら引き続き取り組んでいきます。

また、高校魅力化推進事業や島根県立大学との連携事業により、高校と地域の関わりを深め、教育の質や地域力の向上を目指し、地域の次世代を担う人材の育成を図ります。

つながり創出による市内就職促進事業については、高校生と地域とのつながりを進学後も維持し、大学卒業後の市内就職を促す情報発信を行っていきます。あわせて、市内企業合同説明会の開催や「安来企業ガイドブック」の改訂により、より充実した市内企業の魅力発信に取り組めます。



「行財政改革」

基金の運用について、令和3年度から、市が保有する基金を活用し、国債、地方債などの債券による運用を開始しています。それにより、令和7年度は1千万円を超える運用益が確保できる見込みです。

市の所有施設における高圧電力の需給契約について、令和6年度に電力会社と料金メニューの比較検討を行い、施設ごとに電力調達方式の見直しを行いました。それにより、令和7年度の高圧電力電気料金は3千万円を超える削減効果額を見込んでいます。

今後も行財政改革に積極的に取り組み、新しいまちづくりに必要となる財源を確保し、次の世代につなぐ新たな安来市を創っていきます。

令和7年度の主要施策

保健・医療・福祉

●地域医療を担う医師、薬剤師、看護師等の確保を目的とした奨学金事業について、医学生に対する貸与額を拡充し、安全安心な医療提供体制の充実を図ります。

●「健康やすぎ21」次期計画（計

）フレイル状態のチェックは、スマートフォン用アプリケーション「LocaCo（ロカコ）」から利用できます（写真はイメージです）。



画期間…令和8年度から令和17年度まで）の策定を行います。生活習慣病予防や食育を中心に、地域の実態や健康意識などを調査するとともに、現計画の評価を踏まえ、新たな目標設定や具体的な行動計画を策定し、市民や関係機関と共に事業を推進します。

●高齢者の健康寿命の延伸を図るため、地域の集まりの場でのフレイル予防講座などの啓発事業を継続します。新たに、スマートフォン等で自らのフレイル状態がチェックできるアプリケーションを導入します。

●令和6年度に行った「安来市医療提供体制検討委員会」での経過を踏まえ、引き続き市と社会医療法人昌林会において、安来市の医療提供体制の将来像について議論を深め、安来市立病



▲介護人材確保のため、介護の出前授業なども実施しています。

院の基本構想を策定します。

●安来市立病院では、現在、遠隔医療システムの活用により、鳥取大学医学部附属病院と連携し、専門医による診察とアドバイスを受けられる体制を整えています。今後、新たに、マルチタスク車両と遠隔医療システムを用いた巡回診療の実施を検討します。

●介護人材の就労初期の定着促進を図るため、市内の介護事業所の新たな就職者に対し、就労勤続5年目まで、就業継続支援金を給付します。

●令和6年度に訪問介護事業所の開設支援事業を創設したこと、伯太町井尻地区と広瀬町布部地区に、訪問介護事業所が開設される運びとなりました。住み慣れた地域で安心して住み続けられるよう、引き続き中山間



▲養護老人ホーム鴨来荘の完成イメージ図。古川町で工事が進められています。

地域での新規サービス事業者の安定経営に向け支援を行っていきます。

●養護老人ホーム鴨来荘の建設について、順調に事業が進んでおり、令和8年1月の竣工に向け、引き続き施設整備を進めます。

●発達に関し経過観察が必要な就学前児童の心身の発達を促しながら、スムーズな就学につなげる発達支援ルームについて、よりきめ細やかな対応ができるよう、スタッフ体制を強化します。

●子ども食堂の開設や事業継続に係る経費の一部を補助する子どもの居場所創出支援事業に取り組んでいます。支援を継続しながら、引き続き地域社会の発展と子どもたちの健やかな成長を応援します。

●子ども医療費の助成については、医療費の自己負担が無料となる対象を、中学3年生までから高校3年生までに拡充し、子育て世代の経済的負担の軽減と子どもの健やかな成長を支援します。

●ビタミンやミネラル、食物繊維などを多く含む金芽米を妊産婦に無償提供する「マタニティ応援プロジェクト事業」を引き続き実施します。さらに、市内の保育施設で提供のご飯給食を金芽米に切り替え、給食費を負担する3歳児から5歳児に無償で提供する「主食費無償提供事業」も継続して実施します。

これにより、妊産婦と幼児の健康増進を図るとともに、子育て世帯の負担軽減を図ります。ま



▲栄養満点の金芽米給食（認定こども園荒島）。お腹も元気もいっぱいです。

た、学校給食における金芽米提供も、継続して実施します。

●私立保育施設の保育人材確保を図るため、保育周辺業務を行う保育支援者配置への補助を拡充し、保育士の業務負担軽減を図ります。また、島根県と共同で保育士派遣事業を実施し、保育需要に対応した安定的な保育体制の構築を図ります。

●放課後児童健全育成事業については、放課後児童クラブの利用ニーズが年々増加傾向にありま

●未就学児に対して、スムーズな就学につながるために小学校就学前から必要な支援を行うとともに、子どもが自分らしく、自分のペースで心身の調和的発達の基盤を培う場として、幼児通級指導教室の開設準備を進めます。

●小中学校適正配置の検討について、「安来市立小中学校適正配置基本計画」に基づき、校区再編を着実に進めています。広瀬小学校、山佐小学校、布部小学校校区については、使用する校舎と再編する時期が決定し、再編に向けた具体的な学校の調整を行っています。第二中学校、伯太中学校校区については、引



▲令和6年度には、インターハイ・フェンシング競技大会のポスター図案を選出。

き続き検討を重ねていきます。

●学校給食について、給食費の改定を予定しています。給食費の改定に当たっては、保護者の急激な負担増とならないよう、2力年をかけ段階的に引き上げることとしています。

●令和7年度全国高等学校総合体育大会（インターハイ）では、8月5日から9日まで、安来市民体育館を会場にフェンシング競技大会が開催されます。安来市実行委員会を中心に関係団体と密に連携を取りながら、しっかりと準備を進めていきます。

●和銅博物館について、快適に施設を利用できるよう、空調設備改修の設計を行い、たたらとハガネを生かした文化振興を一層推進します。

●国の重要文化財である雲樹寺四脚門の屋根葺替を中心とする



▲市と台湾新店区とは、令和5年2月7日に友好交流都市の覚書を交わしました。

修理事業が、引き続き行われます。文化財所有者への補助金による支援を行い、貴重な文化財を後世に確実に伝えていきます。

●中学生の海外派遣事業について、韓国密陽市に加え、新たに台湾新店区でも実施します。子どもたちの国際感覚を養い、グローバル社会に対応できる人材の育成に向け、引き続き取り組んでいきます。

防災・防犯

●災害対策本部と現場で対応する職員の間でリアルタイムに情報共有を図ることで、災害時に迅速かつ適切に対応するために、GIS（地理情報システム）の基盤図等をベースとした災害情報共有システムを新たに導入し、防災対策の一層の強化を図ります。





▲ネオ安来節は、若い世代や外国の人の興味関心を引くことがより期待できます。

●島根県が公表する洪水浸水想定区域を反映した「やすぎ市民防災マップ」を更新し、市内全戸に配布します。

●緊急通報を受信する消防指令システムの保守期限を超える装置の更新、ソフトウェアの更新を進めます。

●消防車両について、伯太分署所属の消防ポンプ自動車の更新を行います。

産業・観光・雇用

●第16回全日本ホルスタイン共進会に向けて、関係機関、農家が一丸となって、候補牛の共進会出品と上位入賞を目指します。

●観光庁の補助事業を活用し、「ネオ安来節」を制作しました。安来節の認知度向上、後世への

伝承のきっかけとなるよう、各種イベントでの披露やSNS投稿等により発信していきます。

●林業従事者の育成並びに技術力の向上、林業の担い手確保のため、伯太町地内の山林で林業人材育成拠点整備を行い、令和8年度の供用開始に向けて準備を進めます。

都市基盤・生活

●市道安来港飯島線は、交通量が多く通学路でもあることから、利用者の安全かつ快適な交通を確保するため、両側歩道及び車道の拡幅整備を進めています。令和7年度は、主に吉田橋橋梁上部工の工事を進めます。

●イエローバスの代行として、路線の一部でタクシー車両を使用する事業を、令和6年度に引



▲イエローバスの代行として活用しているタクシー車両。

●市営末広団地・大栄団地を集約し市営大塚団地として建て替えるため、現在6戸の建設を行っています。1期工事終了後は、2期工事として、令和8年度にかけ8戸の建設を予定しています。

自然・環境保全

●良好な景観を維持するため、景観計画の前提となる、景観行政団体に移行し、景観計画の策定に着手していきます。

●再生可能エネルギー設備が地域と共生した普及が図られるよう、国が定めている法令やガイドラインを補完する条例の制定を目指し検討を進めます。

●使用済ペットボトルを新たなペットボトルとして再生する「ボ

トルトボトル水平リサイクル」を開始します（詳細は4〜5ページ）。

参画・協働・行財政

●ペーパーレス議会・会議の導入について、ペーパーレス議会を先行し、令和7年11月開会会議から導入する予定です。ペーパーレス化を推進することで、利便性の向上や印刷経費等の費用削減を図ります。

●地形図や航空写真・道路網図などの各種地理情報を共有する統合型GISを構築しました。4月からインターネット上で公開します（詳細は11ページ）。

掲載されている令和7年度市長施政方針は抜粋しています。全文は、市ホームページ（右下2次元コード）に掲載していますので、ご覧ください。

トップページ＞市政＞市長の部屋＞施政方針：所信表明



問い合わせ

政策企画課 ☎23-3060

